令和３年度　　宮の原小学校　学校評価書

※　網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

１　教育目標（目指す児童像含む）

|  |
| --- |
| 基本目標　豊かな人間性をもち，主体的・創造的に生きていくことができる健康でたくましい子どもの育成目指す子ども像　「本気で学べ」「元気に遊べ」「正しく生きよ」「喜んで働く」　　 |

２　学校経営の理念（目指す学校像含む）

|  |
| --- |
| 児童一人一人が自分のよさや可能性を伸ばせる学校，教職員が働きがいを実感できる学校，家庭や地域との連携・協働による地域とともにある学校づくりを目指す。「学びのある学校」　豊かな体験を通して，自信をもち自立した子どもを育む学校「活気ある学校」　　心身ともに健康で，のびやかな子どもを育む学校「笑顔いっぱいの学校」　友達と活動し，ともに生きる喜びを感じる学校「地域とともにある学校」 家庭，地域と協働して子どもを育む，地域に開かれた学校 |

３　学校経営の方針（中期的視点）　※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

|  |
| --- |
| (1) 　知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育む教育を実践し，カリキュラムマネジメントにより学習効果の向上を図るとともに，本年度の重点目標について学校・保護者・地域が共有しながら特色ある教育活動「宮小けやきプラン２０２１」を推進する。(2)　 全ての教職員が学校経営の理念に基づき目標を共有化し，自己研鑽に努めながら児童一人一人を大切にした教育活動を実践する。また，教職員が生き生きと健康で働きがいを実感できるよう，働き方改革の視点に立ち，リフレッシュウィーク等の勤務時間を意識した働き方の推進や業務の適正化を目指す。(3)　　地域協議会と連携しながら，地域教育力の積極的な活用と人材発掘，地域行事との連携，積極的な情報発信と学校公開等を通して家庭・地域と一体となった地域に根差した取組の充実を図り，地域とともにある学校づくりに努める。一条地域学校園（小中４校）の連携強化により，積極的な情報共有と児童生徒の実態に即した取組を通して小中一貫教育を推進する。(4)　〇小中一貫教育の推進 小中４校の連携強化（積極的な情報共有）と児童生徒の実態に即した取組の推進[一条地域学校園教育ビジョン] 基本をしっかり身に付け，地域に生きる子どもを育む一条地域学校園　 |

４　教育課程編成の方針

|  |
| --- |
| （１）　教育基本法，学校教育法及び同施行規則，新小学校学習指導要領の示すところに従うとともに，「栃木県教育振興基本計画2025」及び「第２次宇都宮市学校教育スンダード」の趣旨に基づきながら，本校児童の実態を踏まえ，教育目標の具現化が図られるよう調和と統一のある教育課程を編成する。（２）　本年度の経営方針，努力点や具体策，前年度活動の評価等を踏まえ，地域社会の実情・児童の心身の発達段階や特性・子どもの育成にかかわる多くの関係者の願いを考慮し，知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成を目指した特色ある教育活動「宮小けやきプラン２０２１」を推進する。 |

５　今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

|  |
| --- |
| 【　学　校　運　営　】・「本気で学べ」「元気に遊べ」「正しく生きよ」「喜んで働く」を目指す子ども像として，全教職員が協働し活気ある学校づくりに努め「宮小けやきプラン２０２１」を推進〇「小中一貫教育と地域学校園」の取り組みの推進【　学　習　指　導　】・自分の思いや考えをもち，進んで伝え合い，学び合う児童の育成【 児 童 生 徒 指 導】　・人とのかかわりを通して，きまりを守ったり人を思いやったりすることができる児童の育成【 健康（耐力・保健・食・安全）】・自らの健康と安全に関心をもち，進んで体力づくりに励む児童の育成 |

６　自己評価（評価項目のＡは市共通，Ｂは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，Ａ拡充　Ｂ継続　Ｃ縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 評価項目 | 主な具体的な取組 | 方向性 | 表中数字：上段　R２年度評　価　　　　　　下段　R３年度　　　　太数字：前年度比　±５ポイント |
| 　　　　　　目指す児童の姿 | Ａ１　児童は，進んで学習に取り組んでいる。【数値指標】全体アンケートの「児童は，授業中，話をしっかりと聞いたり，発表したりするなど，進んで学習に取り組んでいる。」⇒児童の肯定的回答９０％以上 | ・　学習意欲を向上させるために，魅力のある学習課題の設定及び提示の仕方を工夫する。・　学習活動を工夫し，互いに学び合い，深め合う良さを理解させ，積極的に話合いに参加できるようにする。・　安心して発表できる，認め合い，励まし合う教室環境作りに努める。 | B | 【達成状況】A１（○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９４．０ | １００ | ９２．５ |  |
| ９４．９ | １００ | ９１．９ |  |

* 学びに向かう姿勢や環境が整い，進ん

で学習に取り組めるようになってきた。* 感染症対策を取りながら，学び合いの

場面を工夫し，考えを深めたり，進んで伝えあったりする授業を展開してきた。【次年度の方針】* 個人の考えを深められる場面や進んで

伝え合える場面の設定を意識したり，個人用パソコンを活用したりして，学び合いがより深まる取組をしていく。 |
| Ａ２　児童は，思いやりの心をもっている。【数値指標】全体アンケートの「児童は誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している。」⇒児童の肯定的回答９０％以上 | ・　道徳の時間を核として，思いやりの心の大切さを感じたり考えたりする機会を増やす。・　日常生活の中で，児童の親切な行動を称賛したり，紹介したりしていく。・　児童がお互いのよさを認め合い，相手の気持ちや状況を考えて行動できる人間関係と環境作りに努める。・　教師自身がモデルであることを意識し，児童に温かい心で接する。 | B | 【達成状況】A２（○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９４．０ | １００ | ９４．６ | ９３．１ |
| ９２．２ | １００ | ９６．１ | **８５．７** |

* 道徳の授業や日常生活の中で，思いや

りの心をもつことの大切さを伝えてきた。* お互いの良さを認め合ったり，友達を

思いやったりする気持ちを育むことができた。【次年度の方針】* 学級ごとに実態に応じた活動を継続し

て行い，よりよい人間関係を育んでいく。* 異学年での活動やボランティア活動を

推進していくことで，思いやりの心をもって協力し合う活動の充実を図っていく。 |
| Ａ３　児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。【数値指標】全体アンケートの「児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。」⇒児童の肯定的回答８５％以上 | ・　「宮小３つの約束」「宮小こどものきまり」「学びのマナー」を活用し，望ましい行動習慣の形成に努める。・　生活目標について全職員で共通理解しながら継続的に指導すると共に，振り返りカードを活用して指導の充実を図る。・生活目標について，児童会を中心にきまりやマナーについて呼びかける期間を設ける。 | B | 【達成状況】A３（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ８４．４ | ９５．８ | ９３．０ | ９３．８ |
| **９０．２** | ９１．３ | ９６．２ | **１００** |

* 児童会が中心となって，発信を行った

ところ，児童の意識の向上が見られた。* 「宮小３つの約束」「宮小こどものきま

り」「学びのマナー」を全職員で共通理解を図り，望ましい行動習慣についての呼びかけを行った。【次年度の方針】* 引き続き「宮小３つの約束」「宮小こど

ものきまり」「学びのマナー」を活用し，共通理解を図りながら指導の充実を図っていく。* 「生活目標」について，児童が目標を守

って生活しようとする意識が高まるように，環境を整え，具体策を工夫していく。 |
| Ａ４　児童は，時と場に応じたあいさつをしている。【数値指標】全体アンケートの「児童は，時と場に応じたあいさつをしている。」⇒児童の肯定的回答９０％以上 | ・　家庭・地域と連携した「みやのはらあいさつ運動」を継続し，あいさつの定着を図る。（「みやのはらあいさつの日」毎月１日）・　教職員が率先してあいさつをする。・　道徳や特別活動を中心に,発達段階に応じて，時間や相手に応じたあいさつを具体的に指導する。・　児童が主体的に参加できる「あいさつ運動」を実施し，意識を高めるようにする。 | B | 【達成状況】A４（○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９６．２ | １００ | ８９．０ | ９４．４ |
| ９４．９ | １００ | ９０．２ | **１００** |

* 時と場に応じたあいさつの工夫を推奨

し，あいさつの定着を図ってきた。【次年度の方針】* 家庭や地域と連携しながら，児童も主

体的に参加できるあいさつ運動の実施を継続していく。* 教職員も率先してあいさつをしなが

ら，更に意識づけを図っていく。 |
| Ａ５　児童は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。【数値指標】全体アンケートの「私は，夢や目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。」⇒児童の肯定的回答８５％ | ・　学習や活動において，目標を明確にし，ゴールを意識させることで，児童が見通しをもって粘り強く取り組むことができるようにする。・　キャリアファイル等を活用し，自分のよさを伸ばしたり，苦手を克服するために自分なりの目標を設定したりして，努力できるように学校と家庭の両面から児童を励ましていく。・　学び合う場や協力し合う場を意図的に設定し，共に高め合い，励まし合いながら取り組むことができるようにする。・　受容的な態度や温かいコメントを心掛ける。 | B | 【達成状況】A５（○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９２．７ | １００ | ８２．３ |  |
| ８９．２ | １００ | ８２．３ |  |

* 目標を明確にし，ゴールを意識させる

ことで，達成感を積み重ねてきた。* 共に高め合い，励まし合える活動を工

夫してきた。【次年度の方針】* キャリアファイルを活用し，なりたい

自分を意識させることで，自分の良さを伸ばしたり，粘り強く努力できたりするように，学校と家庭の両面から児童を励ましていく。 |
| Ａ６　児童は，健康や安全に気を付けて生活している。【数値指標】全体アンケートの「児童は，健康や安全に気を付けて生活している。」⇒児童の肯定的回答９０％ | ・　養護教諭や学校栄養職員が保健指導や食育指導に積極的に関わったり，「食育だより」や「保健だより」を発行したりして，児童や保護者に健康についての意識付けを図る。* 児童委員会を中心にした活動を行

なったり，生活目標に設定したりして健康や安全ついて身近に考える機会を増やす。・　月1回の登校指導や，月1回の下校指導，また，定期的な班長による振り返りを行い，継続的に安全な登下校の指導を行う。・　地震・火災，不審者対応，竜巻等あらゆる災害を想定した避難訓練を行い，安全な生活の意識付けを図る。 | B | 【達成状況】A６（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９３．３ | １００ | ９２．５ | ９６．８ |
| ９６．６ | １００ | ９６．１ | １００ |

* 委員会活動を工夫したり，養護教諭や学

校栄養職員による保健指導や食育指導をしたりすることにより，健康について身近に考える機会を増やすことができた。* 交通安全教室や災害時に自分の身を守

　る方法の訓練を実施し，児童への意識付けを図ってきた。【次年度の方針】* 健康な生活や安全な生活について，引

き続き意識付けを図っていく。 |
| Ａ７　児童は，夢や目標をもって，社会に貢献できるよう努力している。【数値指標】全体アンケートの「私は，夢や目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。」⇒児童の肯定的回答８５％ | ・　学問，スポーツ，芸術など様々な分野で活躍している人の生き方を紹介し，目を向けさせ，夢や目標をもたせる。・　委員会活動，縦割り班活動，清掃活動，学級での当番や係活動，ボランティア活動などを通して，働くことの喜びや役割を果たす大切さやを味わわせる。・　キャリアファイルを活用し，自分の目標を設定したり，努力を振り返ったりすることができるようにする。 | B | 【達成状況】A７（○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９２．７ | １００ | ８２．３ |  |
| ８９．２ | １００ | ８２．３ |  |

* 道徳や国語，社会科等の教材，日常の話

　題などから，様々な分野で活躍している人の生き方に目を向けさせ考える機会を増やすようにした。* 縦割り班の清掃活動を通して，働くこ

との喜びや役割を果たす大切さに気付くことができた。【次年度の方針】* 様々な人の生き方について，時期や機

会をとらえてたくさん発信し，積極的にふれさせていく。* 自分の役割に責任感をもち，ボランテ

ィア活動にも目を向けられるような声かけや指導を心掛けていく。 |
| Ａ８　児童は，英語を使ってコミュニケーションしている。【数値指標】全体アンケートの「児童は，外国語活動の授業やALTとの交流の際に，英語を使ってコミュニケーションしている。」⇒児童の肯定的回答８５％以上 | ・児童の肯定的回答率の向上を目指す。・コミュニケーションツールの一つとして，タブレット型端末を利用して，自分の考えを表現できるようにする。・児童同士が積極的に英語を使ってコミュニケーションを図れる場面や，全体に向けて英語を使って発表する場面を設定する。 | B | 【達成状況】A８（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童 | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９１．４ | １００ |  |  |
| ９０．２ | １００ |  |  |

* 高学年は個人用パソコンを利用し

て，自分の考えを表現する活動を取り入れてきた。【次年度の方針】* 児童の肯定的回答率の向上を目指す。
* コミュニケーションツールの一つとし

て，各学年に応じてタブレット型端末を利用して，自分の考えを表現できるようにする。* スモールトークを積極的に活用し，教

師とALTのやり取りから教師と児童とのやり取りへと繋げていく授業づくりをする。 |
| Ａ９　児童は，宇都宮の良さを知っている。【数値指標】全体アンケートの「私は，宇都宮の良さを知っている。」⇒児童の肯定的回答８５％以上 | ・生活科・社会科・総合的な学習における校外学習，地域人材との協力の中で，地域や宇都宮に興味がもてるよう学習を進める。・宇都宮市のイベントや行事などのお知らせを配付する際には，宇都宮の良さを知らせるようにする。・宇都宮学の副読本を活用し，宇都宮の自然や交通，伝統文化に目を向けさせるようにする。 | B | 【達成状況】A９（○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ８７．６ | ８７．５ | ６２．４ |  |
| ８９．２ | ８２．６ | **６９．２** |  |

* 社会科の学習や総合的な学習の時間の

宇都宮学を通して，宇都宮に興味をもち，良さを実感できるような体験学習や調べ学習を取り入れてきた。【次年度の方針】* 生活科・社会科・総合的な学習における

校外学習等，地域人材との協力の中で，地域や宇都宮に興味がもてるよう学習を進める。* 宇都宮市のイベントや行事などのお知

らせを配付する際や給食の宮っ子ランチのときには，宇都宮の良さを知らせるようにする。* 宇都宮学の副読本を活用し，宇都宮の

自然や交通，伝統文化に目を向けさせるようにする。 |
| Ａ10　児童は，ＩＣＴ機器や図書等を学習に活用している。【数値指標】全体アンケートの「児童は，パソコンや図書等を学習に活用している。」⇒児童の肯定的回答９０％以上 | ・　児童がICT機器や図書資料を効果的に使える授業づくりを行い，児童が機器や図書に触れる機会を設定する。・　タブレットを活用し，教職員がICT機器等を授業の中で効果的に使用できる場を研究し，学習効果を高めていく。 | B | 【達成状況】A１０（○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ８５．６ | １００ | ６７．８ |  |
| ９３．６ | １００ | **８１．４** |  |

* ICT機器や図書資料を効果的に使える

　授業計画をし，積極的に学校図書館司書業務嘱託員やICT支援員の授業への参画を図った。* 個人用パソコンを効果的に活用でき

る機会を研究し，実際に授業で使用させていくことで，学習効果を高められるよう工夫した。【次年度の方針】* 児童が個人用パソコンや図書資料を効

果的に使えるような授業展開に努め，児童が機器や図書に触れる機会を多く設定する。* 個人用パソコンを活用し，教職員が

ICT機器等を授業の中で効果的に使用できる場を研究し，学習効果を更に高めていく。* 総合的な学習の時間などの調べ学習

では，個人用パソコンと図書双方の特性を理解し，内容に応じて活用できるよう支援していく。 |
| Ａ11　児童は，高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。　　　　　　　　　【数値指標】全体アンケートの「児童は，誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している。」⇒地域住民の肯定的回答９０％以上 | ・　高齢者に対する感謝の気持ちをもてるよう，低学年の生活科での昔遊びや中学年での総合的な学習の時間の福祉体験等や，高学年の家庭科での手縫い等，教えていただく機会を授業の中に設定する。・　道徳の授業を通し，高齢者に対する思いやりの心をはぐくむ指導をしていく。 | B | 【達成状況】A１１（△）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童 | 教職員 | 保護者 | **地域** |
| ９４．０ | １００ | ９４．６ | ９３．１ |
| ９２．２ | １００ | ９６．１ | **８５．７** |

* 低学年の生活科や高学年の総合的な学

習の時間を通して，地域の高齢者と触れ合う機会を設定した。* 福祉や高齢者を取り上げた題材の道徳

の授業を通して，高齢者に対する思いやりの心を育む指導をした。【次年度の方針】* 高齢者に対する感謝の気持ちをもてる

よう，低学年の生活科での高齢者とのふれあい会や昔遊び，中学年の総合的な学習の時間での福祉体験，高学年の家庭科での手縫い等で，教えていただく機会を授業の中にできるだけ設定する。* 道徳の授業を通し，高齢者に対する思

いやりの心を育む指導をしていく。 |
| Ａ12　児童は，「持続可能な社会」について，関心をもっている。【数値指標】全体アンケートの「児童は，環境問題や防災等の「持続可能な社会」について，関心をもっている。」⇒児童の肯定的回答８５％以上　 | ・　環境美化委員会による，電力・水道水の節約の呼びかけや古紙回収活動を通して，身近にできるエコ活動を推進する。・　栽培委員会の花壇の植え替え，児童会の落ち葉集めなどの活動を全校児童に周知することで，環境保全の意識を高めていく。・　各教科の授業でＳＤＧｓの目標を意識した指導をしていく。 | B | 【達成状況】A１２（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９２．０ | ８７．５ |  |  |
| ９０．８ | ７８．３ |  |  |

* 児童会の落ち葉集めや環境美化委員会

の古紙回収・エコキャップ回収，栽培委員会の花の植え替え等で環境保全の意識を高めることができた。* 生活科，理科，道徳の授業の中で，動植

　物を大切にしようとする意識を高められるような授業づくりを心がけた。* 学級では給食の残飯やごみの分別を意

識させ，身近にできるエコ活動を行ってきた。【次年度の方針】* 環境美化委員会による，電力・水道水の

節約の呼びかけや古紙回収活動を通して，身近にできるエコ活動を推進する。* 栽培委員会の花壇の花の植え替え，児童会の落ち葉集めなどの活動を全校児童に周知することで，環境保全の意識を高めていく。
* 各教科の授業の中で環境や防災を意識

した指導をしていく。 |
|  | Ａ13　教職員は，特別な支援を必要とする児童の実態に応じて，適切な支援をしている。【数値指標】全体アンケートの「教職員は，特別な支援を必要とする児童（生徒）や外国人児童（生徒）等の実態に応じて，適切な支援をしている。」⇒教職員の肯定的回答９０％以上 | ・　校内での実態調査や校内支援委員会で上がってきた児童に対して，情報を共有するとともに，個別の支援を行う。児童の実態に応じてかがやきルームや特別支援学級の利用も検討する。・　読み書き計算については，朝の学習タイムなどを活用し，つまずきに対応する。 | B | 【達成状況】A１３（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童 | **教職員** | 保護者 | 地域 |
|  | １００ |  |  |
|  | １００ |  |  |

* 校内での実態調査や校内支援委員会で

　上がってきた児童に対して，情報を共有し，家庭との連携を図り，支援の必要な児童に寄り添った個別の支援を行った。必要に応じて，かがやきルームや特別支援学級の利用活用も検討した。* 学習支援については，朝の学習タイム

などを活用し，基礎基本の定着を図った。【次年度の方針】* 今後も校内での支援体制を整え，児童

の実態に応じて特別支援学級への編入や，かがやきルームの利用などを検討していく。また，必要に応じて関係機関との連携を図る。* 学習支援に関しては，朝の学習時間の

活用や，習熟度別学習及びチームティーチングを行い，手厚い支援をしていく。 |
| Ａ14　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。【数値指標】全体アンケートの「先生方は，いじめが許されないことを熱心にしどうしてくれる。」⇒児童の肯定的回答９０％以上 | ・　いじめに関するアンケートや教育相談を有効に活用し，事実の把握に努めると共に，いじめは許されない行為であることを徹底できるよう，いじめゼロ運動等の様々な機会を生かして継続的な指導を行う。 | B | 【達成状況】A１４（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９８．４ | １００ | ９１．５ | １００ |
| ９７．３ | １００ | ９３．０ | １００ |

* いじめに関するアンケートや教育相談

　の機会を有効に活用し，児童の実態の把握に努め，安心して学校生活が送れるように，常に指導にあたった。* いじめゼロ運動の標語を家庭で児童と

　一緒に考えてもらうことで，保護者にもいじめ防止に対する意識付けを図った。【次年度の方針】* いじめに関するアンケートや教育相談

の活用を継続し，いじめに関わる事実の把握に努める。また，いじめゼロ運動などの機会を生かして，いじめは許されない行為であることを継続して指導していく。* 個人用パソコンの導入により，ネット

上のいじめが全国的に課題になっているので，情報モラルにも力を入れていきたい。 |
| Ａ15　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。【数値指標】全体アンケートの「先生方は，一人一人を大切にし，児童（生徒）がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」⇒児童の肯定的回答９０％以上 | ・　授業での発表や，日常生活，当番活動や係活動を通して自己有用感を感じられるように配慮する。・　学級の中に居場所を感じられるように，多様な意見やお互いを認め合う機会を設けたり，温かな言葉かけを意識したりする。 | B | 【達成状況】A１５（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９８．１ | １００ | ９４．５ |  |
| ９６．９ | １００ | ９５．９ |  |

* 日常生活や学習場面の中で，自己有用

感を感じられるような活動を意識した。* 学級に居がい感があり，安心して学校

生活を送れるように，多様な意見やお互いを認め合う機会を設けた。* 温かな言葉かけを意識したり教育相談

　を活用したりした。* 行き渋りなどの兆候が見られた時に

は，保護者との連絡を密にしたり，校内不登校対策委員会を開催し関係機関につないだりした。【次年度の方針】* 教師が中心となり，児童同士が認め合

えるような機会や雰囲気づくりを心掛ける。また，学級の係活動や特別活動の中で自己有用感を感じられる場を設ける。* 行き渋りなどの兆候が見られた時に

は，保護者との連絡を密にしたり，校内不登校対策委員会を開催し関係機関につないだりする。 |
| Ａ16　教職員は，外国人児童生徒等の実態に応じて，適切な支援をしている。【数値指標】全体アンケートの「教職員は，特別な支援を必要とする児童（生徒）や外国人児童（生徒）等の実態に応じて，適切な支援をしている。」⇒教職員の肯定的回答９０％以上 | ・　本人や保護者の困り感に寄り添い，言葉の面で個別の支援が必要な場合は，外部機関や保護者と相談の場を設けるなどして，困難さを軽減できるようにする。・　道徳や外国語活動を通して，外国の文化を認める国際理解や外国人に対する差別などがないように人権教育を指導していく。 | B | 【達成状況】A１６（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童 | **教職員** | 保護者 | 地域 |
|  | １００ |  |  |
|  | １００ |  |  |

* 本人や保護者の困り感に寄り添い，言

葉の面で個別の支援が必要な場合は，外部機関や保護者と相談の場を設けるなどして，困難さを軽減できるようにした。* 道徳や外国語活動を通して，外国の文

化を認める国際理解や外国人に対する差別などがないように人権教育を指導していく。【次年度の方針】* 本人や保護者の困り感に寄り添い，言

葉の面で個別の支援が必要な場合は，外部機関や保護者と相談の場を設けるなどして，困難さを軽減できるようにする。また，外国語活動や道徳の時間を活用し，外国の文化を認める国際理解を進めるとともに，外国人に対する差別などがないように人権教育を推進していく。 |
| Ａ17　学校は，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。【数値指標】全体アンケートの「私は，今の学校が好きです。」⇒児童の肯定的回答９０％以上 | ・　なかよしタイム等の縦割り班活動の充実。児童会主体のあいさつ運動，特別活動や学校行事を通して，主体的に｢人とかかわる力｣を育てる。 | B | 【達成状況】A１７（○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９２．７ | １００ | ９８．３ | ９７．２ |
| ９３．９ | １００ | ９８．０ | １００ |

* 縦割り班活動（なかよしタイム）やあい

　さつ運動，いじめゼロ運動などを通じ，異学年交流により「人とかかわる力」を伸ばす児童が多く見られた。【次年度の方針】* 児童会主体のあいさつ運動を継続して

　行い，明るい雰囲気づくりに努める。* 特別活動や学校行事を通して，主体的

に「人とかかわる力」を育てられるように努めていく。 |
| Ａ18　教職員は，分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。【数値指標】全体アンケートの「先生方は，勉強を分かりやすく，一人一人に丁寧に教えてくれる。」⇒児童の肯定的回答８５％以上 | ・　児童の実態に即した内容の指導の工夫を行う。・　全校体制で，課題の明確な提示や分かりやすい発問・板書を工夫し，児童一人一人が分かる授業を目指す。・　授業の中で，ペア学習やグループ学習，話し合い，ホワイトボード，タブレット端末などを活用し，児童の主体的・対話的な活動を効果的に取り入れる。・　校内研修サポート事業を活用し，個々の授業改善や子どもの見方について教師自らが学び，授業力の向上を図る。 | B | 【達成状況】A１８（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９８．１ | １００ | ９３．７ |  |
| ９６．９ | １００ | ９２．０ |  |

* 少人数活動や個人用パソコンを活用し

たことにより，児童の主体的・対話的な活動につながり，肯定的回答が増えた。* 校内研修サポート授業を実施し，授業

改善に向けて教師の意識を高めることができた。【次年度の方針】* 次年度も継続して，ICTの活用や校内

研修サポート事業を行うことで，個々の授業改善や子どもの見方について，教師自らが学び，授業力向上を図る。 |
| Ａ19　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。【数値指標】全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。」⇒教職員の肯定的回答９０％以上 | ・　校務分掌や学習指導，児童指導等において，ＯＪＴを促進し，若手教員の育成を図る。・　個々の役割と責任を明確にした上で，同僚に対する気配りをしながら，相互に協力して業務を行う。・　学級経営や校務分掌などで，心配や困ったことがある時には，周囲に相談したり，心配や困りごとを抱えている同僚には，周囲から声をかけたりし，皆で早期に改善を図る。 | B | 【達成状況】A１９（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童 | **教職員** | 保護者 | 地域 |
|  | １００ |  |  |
|  | １００ |  |  |

* 個々の役割を相互協力しながら行うこ

とができた。【次年度の方針】* 継続して，校務分掌や学習指導，児童指

導等において，相互に協力し，早期に解決を図るようにする。* 継続してOJTを促進し，若手教員の育

成を図る。 |
| Ａ20　学校は，教職員の勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。【数値指標】全体アンケートの「学校は，教職員の勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。」⇒教職員の肯定的回答80％以上 | ・　電子掲示板による連絡，会議資料のデジタル化により，業務の効率化を図る。* 打合せや会議の内容を精選し，回数

を削減する。・　教職員自身が出退勤管理を適正に行うとともに，月1回のリフレッシュウィークを各自が有効活用し，定時退勤への意識を更に高めていく。 | B | 【達成状況】A２０（○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童 | **教職員** | 保護者 | 地域 |
|  | ８７．５ |  |  |
|  | ８２．６ |  |  |

* 教育情報システムの掲示板を有効活用

し，打合せの回数を減らすことで業務の効率化を図ることができた。* 退勤時刻について，全職員で共通理解

を図ることで，超過勤務時間の減少に繋げることができた。【次年度の方針】* リフレッシュウィークを各自が有効活

用し，定時退勤への意識を更に高めていく。* 打合せや会議の内容を精選し，回数を

削減する。* 臨時の打合せ等を実施する際は，ポイ

ントを絞り短時間で効率よく進められるように工夫する。 |
| Ａ21　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。【数値指標】全体アンケートの「学校は，『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている。」⇒児童・教職員の肯定的回答８５％以上 | ・　地域や学校園と連携した「あいさつ運動」を継続して行い年３回小中合同で実施する。・　クリーンアップキャンペーンに，地域住民や保護者が来校し，小学生とともに校庭清掃を実施する。※　上記の点は，感染状況により，変更の可能性あり。・　学習や体力の向上，図書館教育，食育など様々な領域において学校園で取り組んでいることを児童に還元し，周知に努める |  | 【達成状況】A２１児童（△）教職員（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | **教職員** | 保護者 | 地域 |
| ８８．１ | １００ | ９３．５ | ９１．３ |
| **７６．５** | １００ | **８７．８** | **１００** |

* 感染の状況により，工夫しながら活動

を行うことができた。* 実施できなかった活動もあり，地域学

校園の取り組みが児童・保護者に対して伝わりにくかった。【次年度の方針】* 感染の状況を鑑みながら，地域学校園

で連携して活動を実施していく。 |
| Ａ22　学校は，地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。【数値指標】全体アンケートの「私は，地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し，楽しい。」⇒児童の肯定的回答８５％以上 | ・　あいさつ運動やクリーンアップキャンペーン，地区文化祭，防災訓練等，地域と相互に協力しながら教育活動を行う。・　地域協議会やＰＴＡ理事会等でそれぞれの意見を吸い上げ，児童の指導や教育活動の向上に活かす。・　学習内容に応じて，地域人材や企業等を活用した授業を展開する。※　上記の点は，感染状況により，変更の可能性あり | B | 【達成状況】A２２（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９３．９ | １００ | ９５．５ | ９６．８ |
| ９２．２ | ９５．７ | ９６．４ | １００ |

* 対面やオンラインなど，実施方法を工

夫することにより，地域や企業の方々が参画する学習活動を実施することができた。【次年度の方針】* 実施方法を工夫して，今後も地域や企

業の方々が入る活動を実施する。 |
| Ａ23　学校は，家庭・地域・企業等と連携・協力して，よりよい児童の育成に取り組んでいる。【数値指標】全体アンケートの「学校は，家庭・地域・企業等と連携・協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。」⇒保護者の肯定的回答８５％以上 | ・　地域コーディネーターを活用して，教育活動全般にわたり協力を得られる人材を増やしたり，学校園で協力して人材確保に努めたりする。・　街の先生・地域の人材の参画を得た授業や，企業の出前講座等を積極的に行い，地域の教育力をさらに学校に取り入れていく。※　上記の点は，感染状況により，変更の可能性あり | B | 【達成状況】A２３（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童 | 教職員 | **保護者** | 地域 |
| ９３．９ | １００ | ９５．５ | ９６．８ |
| ９２．２ | ９５．７ | ９６．４ | １００ |

* 学年だよりや学校だより，ＨＰを活用

し，企業等と連携した授業について発信した。【次年度の方針】* 継続して，地域の人材の参画を得た授

業や，企業の出前講座等を積極的に行う。 |
| Ａ24　学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。【数値指標】全体アンケートの「学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」⇒保護者の肯定的回答　９０％以上 | ・　教職員による校内施設等の定期的な安全点検を行い，結果の共通理解を図るとともに，不備な点は早急に対処する。・　校内や学校周辺で危険が予想されるときには，メールやホームページ，学校だより等により周知を図るとともに，学校の取組を積極的に発信する。 | B | 【達成状況】A２４（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童 | 教職員 | **保護者** | 地域 |
|  | １００ | ９８．３ | １００ |
|  | １００ | ９５．９ | １００ |

* 月に一度安全点検を実施し，全職員で

学校敷地内の点検場所を分担して，施設設備等の点検を計画的・組織的に行った。* 施設設備等に不備がある場合は，学校

業務や機動班，市教委等に依頼し早急に対処した。* 緊急性の有無や連絡の内容により，メ

ール配信や文書配付を使い分けて，保護者や学校関係者に周知するとともに協力を要請した。【次年度の方針】* 定期的に安全点検を実施し，不備の早

期発見と早急な対処を行う。* 感染症対策等，児童の健康や安全に関

する情報を適宜ホームページやメール，各種便り等で発信していく。 |
| Ａ25　学校は，学習に必要なＩＣＴ機器や図書等を整えている。　【数値指標】全体アンケートの「児童は，ＩＣＴ機器や図書等を学習に活用している。」⇒教職員の肯定的回答８５％以上 | ・　ＩＣＴ機器を学習内容に応じて活用しやすいように整備する。・　児童や教師のニーズ，学習や発達段階に応じた図書を整備していく。・　タブレット端末の授業内での活用を図り，日常的に使用できるようにする。 | B | 【達成状況】A２５（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童 | **教職員** | 保護者 | 地域 |
| ８５．６ | １００ | ６７．６ |  |
| ９３．６ | １００ | **８１．３** |  |

* ＩＣＴ機器を積極的に活用した授業を

行った。【次年度の方針】* 継続して，ＩＣＴ機器を学習内容に応

じて活用するとともに，児童や教師のニーズに応じた図書資料の充実を図る。 |
| 本校の特色・課題等 | Ｂ１「魅力ある学校づくり地域協議会」を有効活用し，学校経営の充実を図る。【数値指標】全体アンケートの「学校は，学校で課題となっていることを積極的に説明し，協議会の意見を反映している。」⇒地域住民の肯定的回答９０％以上 | ・　学校で課題となっていることを積極的に説明し，協議会の意見を反映するとともに，一体となって課題解決にあたる。・　交流活動の制限等に合わせ，地域人材を活用したより効果的な体験活動を実施し,学校教育の充実に努める。 | B | 【達成状況】B１（◎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童 | 教職員 | 保護者 | **地域** |
|  | １００ |  | ９６．６ |
|  | ９１．３ |  | １００ |

* 地域協議会において，学校経営方針や

課題を説明し，地域と学校が連携・協力した活動を実施することができた。また，授業参観を通して気付いたことを聞くことができ，教育活動に反映することができた。* あいさつ運動や登下校指導，地区内の

環境点検等で，地域の方々の積極的な協力を得ることができた。【次年度の方針】* コロナ禍の影響で，実施できなかった

地域人材の活用を推進し，学習支援や地域との交流など効果的な体験活動を実施する。* 協議会と連携を図り，学校教育が充実

するよう努める。 |
| Ｂ２　児童は，学校生活の中で，みんなのために，進んで活動したり働いたりしている。 【数値指標】学校独自質問の「わたしは，お手伝いや係の仕事，ボランティア活動などをしている」⇒児童の肯定的回答９０％以上 | * ボランティア活動について，児童会

が主体となって呼びかけたり，活動の様子を学校だよりや学校ホームページなどで紹介したりして，意欲を高めていく。* 道徳の時間などでボランティアの

意義や助け合うことの大切さを教える。* 係活動や当番活動を通して，働くこ

との意義を学び，喜びを味わわせる。 | B | 【達成状況】B２（○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ９１．１ | １００ | ８８．５ | ７９．２ |
| ９０．５ | １００ | **９４．０** | **１００** |

* 落ち葉掃きや募金活動等のボランティ

ア活動について，児童会が主体となって呼びかけたり，活動の様子を学校だよりや児童会だよりなどで紹介したりして，意欲を高めていった。* 道徳の時間などでボランティアの意義

や助け合うことの大切さを理解できるようにした。* 係活動や当番活動を各クラスで工夫

し，働くことの意義を学び，喜びを味わわせられるように努めた。【次年度の方針】* ボランティア活動について，児童会が

主体となって呼びかけたり，活動の様子を学校だよりや学校ホームページ，児童会だよりなどの様々なツールで紹介したりして，意欲を高めたり，充実感を味わわせたりする。* 道徳の時間などでボランティアの意義

や助け合うことの大切さを教える。* 係活動や当番活動を通して，働くこと

の意義を学び，達成感や喜びを味わわせる。 |
| Ｂ３　家庭学習を続ける習慣が身に付いている。【数値指標】学校独自質問の「わたしは，学年の目標時間（学年×１０+１０分）以上宿題や自主学習をしている。」⇒児童の肯定的回答８５％以上 | ・　家庭学習カードを活用して宿題や音読，自主学習に継続的に取り組めるようにする。・　学年ごとに，発達段階に応じた自主学習の内容と方法を具体的に示し指導する。・　家庭学習の定着の意義や学校での指導内容を，学級懇談会や学年だより等で保護者に知らせ，より一層の理解や協力を得られるように努める。・　「家庭学習強調週間」を実施し**，**期間中の家庭学習カードに，児童が目標を設定して取組について振り返ったり，保護者のコメントをもらったりする欄を設け，取組の徹底・充実を図る。 | B | 【達成状況】B３（○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ８６．０ | １００ | ７７．９ | ９３．８ |
| ８５．４ | １００ | ７７．１ | １００ |

* 「家庭学習の手引き」や「家庭学習カー

ド」を活用して，児童の取り組みについて励ましたり，アドバイスをしたりして意欲を高めてきた。* 「家庭学習強調週間」を実施し，家庭も

　巻き込んだ取り組みを行い，充実を図った。【次年度の方針】* 学習時間だけでなく，学習内容を工夫・

充実していけるように，学び方について助言していく。 |
| Ｂ４　児童は，本をよく読んでいる。【数値指標】学校独自質問の「わたしは，本を読んでいる」⇒児童の肯定的回答８０％以上 | * 「本はともだちプロジェクト」の実

践，家読（うちどく）の奨励等を通して，家庭読書の充実を図る。* 読書の質の深化を図るような図書

室利用を工夫する（学校司書と連携した読書指導の実践・個に応じた選書支援（読書コンシェルジュ）・学校のオアシスとしての環境づくり，蔵書の充実）。* 多読者の表彰の場を継続して読書

への意欲を高める。* 読んだ本の感想を記録・蓄積し，共

有する機会をつくることで，読書の幅を広げる。* けやき読書週間中は，朝の学習を読

書，また，家庭学習で読書の宿題を出し，集中して読書に取り組む。* 学校ホームページに読書活動の様

子をアップし，保護者や地域の方に取組が伝わるように発信していく。 | B | 【達成状況】B４（△）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **児童** | 教職員 | 保護者 | 地域 |
| ８０．９ | １００ | ６５．９ | ７７．８ |
| ７７．６ | １００ | ６２．８ | ８０．０ |

* 多読者を表彰する，借りた本の数が一

定数に達した児童にプレゼントをする等して，読書意欲を高める工夫をした結果，昨年度よりも貸出冊数が増加した。* 家読，ブックレター等の取り組みを通

して，保護者にも協力を得，家庭読書の充実を図ることができた。【次年度の方針】* 「本はともだちプロジェクト」の実践，

家読（うちどく）の奨励等を通して，家庭読書の充実を図る。* 読書の質の深化を図るような図書室利

用を工夫する（学校司書と連携した読書指導の実践・個に応じた選書支援（読書コンシェルジュ）・学校のオアシスとしての環境づくり，蔵書の充実）。* 多読者の表彰の場を継続して読書への

意欲を高める。* 読んだ本の感想を記録・蓄積し，共有す

る機会をつくることで，読書の幅を広げる。* けやき読書週間中は，朝の学習を読書，

また，家庭学習で読書の宿題を出し，集中して読書に取り組む。* 学校ホームページに読書活動の様子を

アップし，保護者や地域の方に取組が伝わるように発信していく。* タブレットでの新刊紹介など，タブレ

ット利用が読書活動に結びつくような取り組みを行う。 |

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

|  |
| --- |
| ・　今年度，宇都宮市共通の質問２５問と，学校独自の質問４問でアンケートを実施した。「肯定的回答割合が昨年度よりも５ポイント以上増加，または市全体より５ポイント以上高い」の項目を取組の成果が認められたものとした。一方，「肯定的回答割合が昨年度よりも５ポイント以上減少，または，肯定的回答割合が８０%未満」の項目を取組の成果が十分ではなかったものとした。* 今年度もコロナ禍の影響により，学校生活や学習活動において様々な制限があったが，児童は明るく元気に過ごしていた。

Ａ４「児童は，時と場合に応じたあいさつをしている。」は，保護者・地域住民ともに評価が高く，昨年度より５ポイント以上高くなっていることから，家庭・地域と連携した「あいさつ運動」の継続や，道徳・特別活動の授業を中心に時間や相手に応じたあいさつの大切さを伝え育むことができたと考えられる。また，Ａ９「児童は，宇都宮の良さを知っている。」は，児童・保護者の評価が昨年度を上回り，児童の評価が市の平均を５ポイント以上上回っていることから，社会科の学習や宇都宮学の学習を通して，宇都宮に興味をもち，よさを実感できるような体験学習や調べ学習を取り入れたことで成果が表れたと考えられる。* 「自分の思いや考えをもち，進んで伝え合い，学び合う児童の育成」を重点目標として学習指導に取り組んできた。新

型コロナウイルス感染防止対策のため，伝え合う活動に制限がある中，警戒度レベル県版ステージの変更に合わせ，意見交換の方法を工夫して進んで学習に取り組むことができた。Ａ１「児童は，進んで学習に取り組んでいる。」でも児童・保護者の評価は高く，学びに向かう姿勢や環境が整い，進んで学習に取り組めるようになってきたと考えられる。今後も個人の考えを深められる場面や進んで伝え合える場面の設定を意識したり，個人用パソコンを活用したりして，学び合いがより深まる工夫を図っていきたい。* ＩＣＴ機器の活用については，Ａ１０「児童は，ＩＣＴ機器や図書等を学習に活用している。」で，児童の評価が昨年度

を上回り，市の平均も上回っていることから，児童の個人用パソコンを効果的に活用できる機会を研究し，実際に授業で使用させていくことで，学習効果を高められるよう工夫した成果が表れていると考えられる。今後も教職員がＩＣＴ機器を授業の中で効果的に使用できる場を研究し，学効果を更に高めていきたい。* 数値指標を下回った項目は，Ａ１１「児童は，高齢者に対する感謝の気持ちを持っている。」である。地域住民の肯定的

回答割合を数値指標としたが，４．３ポイントほど下回った。今年度，低学年の生活科や高学年の総合的な学習の時間を通して，地域の高齢者と触れ合う機会を設定したので，さらに継続・充実させていきたい。また，Ｂ４「児童は，本をよく読んでいる。」は，児童の肯定的回答割合を数値指標としたが，２．４ポイントほど下回った。今年度，多読者の表彰や借りた本の数が一定数に達した児童にプレゼントをする等，読書意欲を高める工夫をした結果，貸出冊数は増加しているので，表彰の場を継続して読書への意欲を高めるとともに，家読の奨励等を通し保護者と連携して家庭読書の充実を図っていきたい。今後は，学校での取組や児童の様子についてホームページなどで情報発信し，地域の理解を得られるようにしたい。〇　小中一貫教育・地域学校園の取組については，今年度もコロナ禍の影響により，積極的な交流を図ることは難しい状況であった。Ａ２１「学校は，小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている。」に対する保護者や児童の肯定的回答割合が昨年度を下回っている。実施できなかった活動もあり，地域学校園の取組が児童・保護者に伝わりにくかったと考えられる。今後， 連携の方法を工夫し，小中４校の連携強化（積極的な情報共有）と児童生徒の実態に即した取組の推進を図っていきたい。 |

７　学校関係者評価

|  |
| --- |
| * 小中一貫の取組に対して,保護者はまだ低い数字ではあるが,活動自体は充実した活動ができていると思う。
* 全体的に，学校は児童のために熱意ある指導をしていただいていると感じられる。特に設問１４「教職員はいじめが許

されない行為であることを指導している」に関しては学校側の熱意が感じられ，良い方向に向いていると思う。今後も期待している。* 地域住民の回答割合が昨年度よりも低い設問は，コロナ禍の閉塞感も影響していると思う。
* 学校が子供たちのために頑張っていることを理解している。それは今回の数値に表れていない部分もあると思う。今後

も児童にとっての最善を考え，指導をお願いしたい。* 保護者の評価が市全体・前年度より全体的に高いのは，学校への信頼度が高いことの表れであり喜ばしいことと思う。

・　地域住民の評価が低い設問は，児童がよく見えていないこともあると思う。毎日児童と接している地域住民の立場として，児童が礼儀正しく優しさもあり，一緒に活動する機会があれば傍に来て手伝う優しさも見ている。* コロナが落ち着いて，地域の方や高齢者の方と触れ合う機会が作れることに期待している。
* 全職員が目標に向かい真剣に取り組んでいる様子が見て取れる。先生方のご指導とご努力に感謝したい。
* 設問１１「児童は高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている」と設問Ｂ１「地域人材を活用したより効果的な体

験活動を実施し，学校教育の充実に努めている」について，コロナ禍で学校教育での高齢者との交流が唯一の機会となっている。高齢者の知恵・技能・人生観を知れば思いやりの心を育む一助になると信じている。頭で知る理解だけでなく，触れて知る体験の機会も増やしてほしい。* ＩＣＴ活用に関し，今後に期待している。
* 素晴らしい経営理念であると感じる。保護者，児童，職員へきちんと浸透するよう，学校関係者としても努力しなけれ

ばいけないと思う。 |

８　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

|  |
| --- |
| 【学校経営】* 学校教育目標を具現化するために「宮小けやきプラン」を策定し，学習・学校行事・日常の生活・家庭や地域との連携

の場など，様々な場面で具体的な取組を推進し，「本気で学ぶ子・元気で遊ぶ子・正しく生きる子・喜んで働く子」の育成を目指す。* 「宮小の子は教職員，家庭，地域みんなで育てる」を理念とし，学校経営にあたる。
* 次年度も感染症対策や児童の健康や安全に関する情報を適宜ホームページやメール，各種便り等で発信していく。
* コロナ禍の影響で実施できなかった地域人材の活用を推進し，学習支援や地域との交流など効果的な体験活動を実施して

いく。【学習指導】* 児童個人の考えを深められる場面や進んで伝え合える場面の設定を意識したり，個人用パソコンを活用したりして，学び

合いがより深まる取組をする。* 次年度も継続して，ICTの活用や校内研修サポート事業を行うことで，個々の授業改善や子どもの見方について，教師が

学び，授業力向上を図っていく。・　家庭学習の定着の意義や学校での指導内容を，学級懇談会や学年だより等で保護者に知らせ，より一層の理解や協力を得られるように努める。* 「本はともだちプロジェクト」の実践と家読（うちどく）の奨励等を通して，家庭読書の充実を図るとともに，読書の質

の深化を図るような図書室利用を工夫していく。【児童指導】* 「宮小３つの約束」「宮小こどものきまり」「学びのマナー」を活用し，教職員の共通理解を図りながら家庭や地域と連携

し，指導の充実を図っていく。* 今後も校内での支援体制を整え，児童一人一人の特性に対応できるよう，個に応じた継続的な指導や支援に努める。
* 家庭や地域と連携しながら，児童も主体的に参加できるあいさつ運動の実施を継続していく。

【健康（体力・保健・食・安全）】・　各学年の教科体育において十分な運動量を確保するとともに指導法を工夫し，個々の健康や運動への関心を高め，体力の向上に努める。* 水泳や縄跳びなどのがんばりカードの活用や健康教育・食育に係わる便りの発行やイベントの実施など地域学校園共通

　の取組を継続させていく。 |